

Dr. からのアドバイス
こんなとき
どうしたらいい？

Q4

新型インフルエンザにかかったらどこの病院に受診したらよいですか？

A 新型インフルエンザの対応は感染症法で定められた感染症指定病院で診療することになっています。岐阜市では岐阜赤十字病院が指定されていますが、一度に大勢が受診すると診療できなくなります。まずは電話で問い合わせてください。爆発的流行が起こったときは、病院に受診すると他の患者さんに移す恐れがあるため、行政当局や病院が救護所や専用診療所を設置します。報道に注意し指示された救護所で診療を受けることになります。

企業の新型インフルエンザ対策の具体例		
目的	区分	対策例
従業員の感染機会を減らす	全般	在宅勤務・職場内での宿直、対面営業の自粛・縮小
	通勤・満員電車	時差出勤・自家用車・徒歩
	外出先など	不要・不急の出張や会議の中止
職場での感染拡大を防ぐ	感染者を職場に入れない	出勤時体温測定や問診、疑い患者の出勤制限
	接触距離を保つ	職場や食堂の配置換え・食堂の時差利用・フレックス制
	飛沫・接触感染を防ぐ	マスク使用・手洗い励行、職場の消毒・換気
代替要員の確保	市民生活に関わる企業活動継続	複数班による交代勤務制・経営トップも交代勤務とする

Q3

タミフルは新型インフルエンザにも本当に効くのでしょうか？

A 従来型のヒトA型・B型インフルエンザにはタミフルは有効ですが、新型インフルエンザに効果があるとは限りません。従来のインフルエンザと似た型であればある程度効く可能性がありますが、大幅に異なった型が発生すれば効果はないでしょう。ただし、普段から健康な生活に心がけ体力があれば感染後に免疫力（抗体）ができて自然に治る可能性があります。不摂生をしたり、喫煙していると自力で治らない危険があります。爆発的な流行が起こっても約2ヶ月程度で収束すると予想されており、その間、極力他人から移されないよう外出を最小限にすることの方が重要です。



今回は、マスコミ等で報じられている新型インフルエンザの爆発的流行について、答えていただきます。

新型インフルエンザは、ひとたび爆発的流行（パンデミック）が起これば日本では100万人の方が死亡するのではと危惧されています。今から十分な対応が求められています。

Q2

会社や家庭で気をつける対策は？

A インフルエンザウイルスに感染しない、移さないことが基本です。岐阜県内で流行しだしたら、極力外出を避け、常時マスクの着用、手洗い・うがいをしっかり行いましょう。マスクは家庭・職場で医療用マスク（外科医や歯科医が使っているマスク、1枚50～100円）を十分に常備しておきましょう。企業は、厚生労働省のガイドラインを参考に早急に、会社毎の行動計画を作っておきましょう。表に企業が行うべき行動計画・対策例を示します（左ページ表参照）。

Q1

新型インフルエンザと従来のインフルエンザの比較（かかったらどうなるか）

A インフルエンザは赤血球凝集素16種類とノイラミダーゼ9種類の2つの要素の組合せによって144種類の色々な型があります。従来型のインフルエンザに対して人間は免疫力（抗体）を持っているので重症になることは少ないですが、突然変異により新しい型が生まれると、人間の体が免疫力（抗体）を持たないため、高齢者など体力のない人は重症化し死亡することもあるのです。かつてスペイン風邪と呼ばれた新型インフルエンザは全世界で500万人以上が死亡しました。

今月のドクター



岐阜市民病院
呼吸器科・呼吸器腫瘍内科部長
澤 祥幸氏
(さわ としゆき)

昭和59年岐阜大学医学部卒。大阪府立羽曳野病院（現呼吸器アレルギーセンター）を経て岐阜市民病院呼吸器科部長。専門は肺がんの集学的治療。日本初の「がん薬物療法専門医」